

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 新 林業・木材事業者活動強化支援補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 販路拡大係 電話番号：058-272-1111 (内 3015)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,000	0	0	0	0	0	0	0	23,000
決定額	23,000	0	0	0	0	0	0	0	23,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

消費税率引き上げ、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の減速により、新設住宅着工戸数 (全国) は令和元年7月から14ヶ月連続で前年同月を下回り、工務店の経営状況は極めて厳しい。

さらに、製材加工事業者にとっては、製材用木材需要の8割は住宅需要の落ち込みに加え、B to Bの大規模商談会は中止による新たな商談機会の喪失、経済の減速などにより、減産せざるを得ない状況にある。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、VR技術やWEBを活用した非対面型の営業・商談活動など新たなビジネス手法の導入が求められているが、工務店や製材加工事業者など林業・木材事業者の経営体力は弱っており、これらに対する積極的な投資ができないことが予想される。

このため、VR技術やWEBを活用した非対面型の営業・商談活動など、林業・木材事業者による「with コロナ」に対応した新たな取り組みを支援する。

(2) 事業内容

①国内競争力強化支援

- ・事業内容： 仮想現実（VR）住宅展示場の開発、WEBを活用した営業・商談活動の実施など国内での県産材住宅、県産材製品の販路拡大に向けた取り組みを支援
- ・補助対象者： 県内の林業・木材事業者（プロポーザル方式）
- ・補助率： 1 / 2 以内（補助限度額：1,000 千円）

②海外販路拡大支援

- ・事業内容： WEBを活用した展示会・商談会への出展、海外通販サイトや多言語に対応したホームページの開設など海外での県産材製品の販路拡大に向けた取り組みを支援
- ・補助対象者： 県内の林業・木材事業者（プロポーザル方式）
- ・補助率： 1 / 2 以内（補助限度額：2,000 千円）

（3）県負担・補助率の考え方

補助率：1 / 2 以内

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	23,000	①国内競争力強化支援 : 1,000 千円×13 件 ②海外販路拡大支援 : 2,000 千円× 5 件
合計	23,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

県産材の販路拡大は、第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～R3）における「国内外への県産材需要拡大プロジェクト」に位置づけられている。

（2）国・他県の状況

類似事業なし

（3）後年度の財政負担

—

（4）事業主体及びその妥当性

木材関係事業者からの提案（プロポーザル方式）とすることで、より効果の高い事業に対して支援することができる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	林業・木材事業者活動強化支援事業費補助金
補助事業者（団体）	民間事業者（木材関係事業者）
補助事業の概要	（目的・内容） VR技術やWEBを活用した非対面型の営業・商談活動の実施など、「withコロナ」に対応した新たな取り組みを支援。
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他 （内容） 補助事業に要する経費の1/2以内 （理由） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた木材関係事業者の経営を支援するため
補助効果	—
終期の設定	令和3年度 （理由） 新型コロナウイルス感染症対策期間

（事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた木材関係事業者の経営を回復軌道に乗せる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H25年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
ぎふ性能表示材製品出荷量	14.5 千 m ³	50 千 m ³	50 千 m ³

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	—	—	—	—	(要求額) 23,000 千円
指標目標	—	—	—	—	50 千 m ³
指標実績	—	—	—	—	(推計値) 10.0 千 m ³
指標達成率	—	—	—	—	20%

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた木材関係事業者の経営を早期に回復軌道に乗せることが必要。</p>

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が大きく減少した木材関係事業者の経営を支援することが必要。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある</p>	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由) 新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、国内の経済活動が回復軌道に乗った時点で廃止とする。</p>
